

テーマ別パスファインダー



アメリカ史研究入門



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2020年11月26日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

アメリカ史研究は、文字通り、アメリカ合衆国の歴史の研究を目的としています。ただし、その「アメリカ史」には、政治史、外交史、経済史、社会史、文化史、宗教史等、様々なテーマが含まれます。また、アメリカ史研究は、地域研究（Area studies）としての「アメリカ研究」の土台にもなります。アメリカ合衆国についての研究は、アメリカ史の勉強から始まると言っても過言ではないでしょう。

まずは以下のような参考文献を読むことから始めましょう。それらはアメリカ史研究の「見取り図」であり、アメリカ史における重要テーマ、研究の方法論、それぞれの研究テーマで読むべき基礎文献等を記載しています。以下ではラーニング・サポーターがお勧めの文献を紹介します。

II. アメリカ史を知る

◀ 有賀夏紀, 紀平英作, 油井大三郎 (2009) 『アメリカ史研究入門』 (山川出版社)

本書はアメリカ史の重要テーマと論点を網羅しており、アメリカ史の通史とテーマ史も簡潔にまとめています。アメリカ史とその研究の基礎を学べる点で、最初の1冊にお勧めです。

【外国図-4 階開架 253||295】

◀ 堀本武功 (2004) 『現代アメリカ入門』 (明石書店)

本書は「現代アメリカ」を理解するために、アメリカの伝統や歴史的背景を解説しています。第1章「アメリカの見取り図 — 三世紀の歩み」では、18世紀のアメリカの建国から20世紀後半までの歴史を簡潔に描いています。

【外国図-4 階開架 302.53||230】

III. 地域研究としてのアメリカ研究に応用する

◀ 五十嵐武士, 油井大三郎 (2003) 『アメリカ研究入門』 (東京大学出版会)

本書はアメリカ研究の特色や研究史を詳しく記述しており、参考文献リストも充実しています。本書は他の文献よりも専門用語が多いので、本格的なアメリカ研究の世界に足を踏み入れたい人に向いています。

【外国図-4 階開架 302.53||8】

＜ 杉田米行（2005）『アメリカ社会への多面的アプローチ』（大学教育出版）

本書はアメリカ社会の重要なテーマを幅広く扱っています。このため、レポートや卒業論文等の研究テーマを探すのに向いています。下記の『新・アメリカ研究入門』と併用すると良いでしょう。

【外国図-4 階開架 302.53||249】

＜ 矢野重喜（1998）『新・アメリカ研究入門』（成美堂）

本書はアメリカについての基礎知識を身につけるための概説書で、大学1・2年生を対象としています。アメリカ研究のそれぞれの専門分野についての前提知識が簡潔に説明されています。

【外国図-4 階開架 302.53||183】

----- MEMO -----

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。